

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人淳幸会 宮崎神経科嵯峨病院建替計画	階数	地上3F
建設地	京都市右京区嵯峨二尊院門前北中院町2-9	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2018年10月4日
敷地面積	6,004.37 m ²	作成者	深尾 元詞
建築面積	1,385.18 m ²	確認日	2018年10月4日
延床面積	3,308.26 m ²	確認者	深尾 元詞



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。	その他
Q1 室内環境	・全館禁煙を実施している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	Q3 室外環境(敷地外)
LR1 エネルギー	・特に無し	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される